
逃走中 ~謎の人物との対決~

簾笥の角

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 ～謎の人物との対決～

【Zコード】

N1237BA

【作者名】

簾笥の角

【あらすじ】

舞台は、とあるサービスエリア。ゲームマスターは、ここで逃走中を催すが、謎の人物が妨害を謀る。果たしてゲームマスターは、妨害に負けず、無事逃走中を成功させることができたのか！また、80分間逃げ切り、96万円を獲得する者は現れるのか！！

「JR 湘越（前書き）

」JR 湘越です。

初めまして！新しく小説を書く筆箇の角です！逃走を中心として、書いていくので、応援宜しくお願ひします！！

逃走中は、ジャンプの頃から見ていて、すぐ書きたいといつ想いがあつたので、書けることを凄く幸せに感じているので、精一杯頑張ります。でも初心者なので、拙い文章になつてしまつかもしれません、ご理解の程、宜しくお願ひします。

オリジキャラではなく、アニメキャラが出る作品に仕上げてこいつを考えています。こちらも、ご了承ください。

1.1 挨拶（後書き）

次回は、概要と逃走者紹介と意気込みです。

概要、逃走者、意気込み（前書き）

今回は、大まかな情報です。

概要、逃走者、意気込み

(Hリア詳細)

今回の舞台となるのは、「とある高速道路のサービスエリア」。駐車場に停まっているトレーラーで隠れることができ、また施設内にも潜伏できる。広さは、およそ東京ドーム2個分。なお、一般客も混じっている。

下半分・・・駐車場（トレーラー駐車）

施設・・・中央館（1F お土産屋 2F レストラン 3F ゲームセンター）

西側・・・トイレ（自首用電話設置）、コンビニ、マイクロッカー

東側・・・展望台、そよかぜ広場（牢獄設置）、公園

施設の入り口付近・・・屋台（全長400m）

施設の裏・・・歩道（道中の草むらに潜伏可）

(逃走者)

今回は、3作品より16人の逃走者が、80分間のゲームに挑む。

マリオシリーズ

- ・マリオ
- ・ルイージ
- ・ワリオ
- ・ワルイージ
- ・ピーチ
- ・ディジー
- ・ボーカロイド
- ・初音ミク
- ・鏡音リン
- ・鏡音レン
- ・KAITO
- ・けいおん！

・平沢唯

・秋山澪

・田井中律

・琴吹紬

・中野梓

・山中さわ子

以上、16人。

(意気込み)

Q 目標金額は?

ルイージ「96万円です！！！」

ワリオ「当然96万円だ！ワリオ城建設のためにもな！ガッハッハ！」

リン「40万円位ですかね・・・」

律「全額の96万円だー！」

さわ子「ううね・・・60~70万位は欲しいわ。」

Q賞金の使い道は？

マリオ「最近休みないからな・・・バカנסにハワイでも。」

デイジー「うーん、特に考えてない・・・」

KAITO「アイスを買えるだけ買いますー！」

レン「ロードローラーの頭金にしようかと。」

唯「美味しいものを食べ歩きたいなー」

梓「新しい機材を買いたいです。」

Qハンターから逃げ切れる自信は？

ピーチ「あまつ無い・・・かな。」

ワルイージ「曲がり角をつかって、逃げ切りたいなあ。」

ミク「まず見つからない」とを優先にしたいです。」

澪「微妙だな・・・たぶんムリだと思つ・・・」

紹「殺氣でハンターを感じられたら……」

概要、逃走者、意気込み（後書き）

次回、いよいよゲームスタート……！

ゲームスタート！（前書き）

スタートは一番トレーラーからです。

ゲームスタート！

30XX年 とあるビル内にて

ゲームマスター「さあ、ゲームの始まりだ・・・」

といいながら、（forward）と書かれたパネルをタッチする。

すると、2体のハンターがエリアに転送された！

一方・・・

????「ゲームマスター。君のゲームを、ちょっと妨害させてもううよ。フッフッフ・・・」

ゲーム前、エリアに散らばる16人の逃走者達・・・

KAITO「どこに隠れよう・・・」

唯「ハンターはどこから来るのかな?」

ピーチ「ここにしましょ~」

レン「え?もう放出?」

ゲームスタートまで

10

ワルイージ「もう来るー!」

9

律「ヤバイヤバイ・・・」

ロン「どうしたらいいか分かんない……」

4

ワリオ「離れたところにしておくが。」

5

紺「ここに近いで。」

6

ミク「ここかな?」

7

ルイージ「怖いよ……」

8

START 残り80:00 0円

残り80:00

梓「うう・・・緊張します。」

1

「テイジーだー！」

2

「おお、これでやね。」

3

エリアに2体のハンターが放出された！

澪「始まつた・・・賞金も増えてるし・・・」

2体のハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる。それが・・・

Run for money

逃走中

今回の舞台は、とあるサービスエリア。広さは、およそ東京ドーム2個分。

この中を、16人の逃走者が逃げ回るーー！

ワリオ「おおー増えてる増えてるー」

賞金は、1秒200円ずつ上昇。80分間逃げ切れば、何人でも96万円を獲得できる。

唯「うーん、自首もありかな・・・」

また、このゲームは自首もできる。Haria内1ヶ所に設置された自首用電話から、

自首を申告すれば、その時点までの賞金を獲得できる。

但し、2体のハンターに捕まれば、賞金は0！

驚異のスピードとスタミナを持つハンターから逃げるのは、容易ではない！！

スタッフ「（ミッションには参加されますか？）

ミク「行きます！頑張れば、マスターがご褒美くれるし・・・」

果たして、ご褒美GETなるか・・・

梓「あ、唯先輩だ。」

「あーあーすこやーんー！」

梓と唯が合流。

梓「ちょっと・・・やめて下さい唯先輩！」

「いいじゃん

逃走中でも、スキンシップは欠かさないようだ・・・

「デイジー、レストランに行こう。」

移動を試みるデイジー。その近くに、ハンター。

ハンター「…………」

デイジー「ハンターに見つかりませんよう……」

ハンター「…………」

二人の距離が、どんどん縮まる……

デイジー「あ。見えてきた……つでハンター……！」

ハンター「…………」

見つかった・・・

出会い頭だつたため、距離はすぐに縮まり・・・

ポン！！

デイジー 確保 残り15人

デイジー「祈つてたのに」

祈り、届かず・・・

ワルイージ「メールだ。」

確保などの情報は、メールで知りられる。

紺「屋台通りにて、テイジー確保。残り15人。」もつ確保者が・・・

KAITO「怖い怖い・・・

レン「ここから、ハンターとか見えるな。よし、口口を拠点にしてよし。」

早くも拠点を決めた、ボーカロイド。

レン「見つかりやするのがマイナスだけど・・・

「この作戦、成功するのか……

マリオ「もう5分……6万円ー?」

さわ子「これはいい稼ぎになるわ」

その頃、ゲームマスターはといふと……

ゲームマスター「そろそろ!!シション発令だな。」

と言い、(mission)とかかれたパネルをタッチするゲームマスター。

ショーン!!

エリアに、3つのハンター・ボックスが設置された!!

この存在が、逃走者の欲望を掻き立てる事となる。・・・

？？？「よし、コレで行け。」

また、謎の人物によって、ミッションの難易度が上がるーー！

ゲームスタート！（後書き）

次回、ミッション一発令！…3つのハンター・ボックスの意味とは！？

//シシヨン一発令一（前書き）

つこで//シシヨン一が発令一その時逃走者は?

〃ミッション一発令！

残り70:00

120000円

ピリリリ ピリリ

澪「ヒッ！メールか・・・」

ペーチ「ミッション・・・来た・・・」

KAITO「『これより賞金アップのチャンスを『』える。』」

ワルイージ「「残り60分までにエリア3ヶ所に設置されたハンターボックス

の隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンターが放出される。」

紺「「しかし、それと同時に1体放出につき100円賞金単価がアップする。」

何?・・・」のミッション。」

ミッション 賞金単価をアップせよ!

逃走者に、賞金アップのチャンスが与えられた。ゲーム残り60分までに、

エリア3ヶ所（公園、中央館2F、コンビニ前）に設置された

ハンターボックスの隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンタ

ーが放出される。

しかし、放出と同時に、1体につき100万円賞金単価がアップする。

0体放出	1秒200円	賞金96万円
1体放出	1秒300円	賞金132万円
2体放出	1秒400円	賞金168万円
3体放出	1秒500円	賞金204万円

しかし、放出すると、確保の確率が高まる。果たして、逃走者は

賞金増額か身の安全のどちらを選ぶのか！？

ルイージ「ハンター増やしたくないから、バスしよう。」

レン「賞金は欲しいけど・・・ハンターは増やしたくないから、
行かない。」

ミックションに行くか行かないかは、逃走者の自由だ。

ワリオ「行つて損はないな・・・よし行こうーー！」

律「一番近いのは公園かな・・・行つてみよう。」

ミック「コンベニの前にいってみようかな。」

ミックションに向かうのは、ワリオ、田井中律、初音ミックの3人。

しかし動けば、

ハンターに見つかるリスクが高まる！

梓「唯先輩、ミッション行きますか？」

唯「私は行かないよ。あづにゃんは？」

梓「私も行きません。ハンター放出は嫌ですし。」

ミッションに向かわない二人。その前から、ハンター。

ハンター「…………。」

唯「ギー大大丈夫かな？」

梓「いや、そんな心配してる暇は・・・ってハンター！！」

ハンター「・・・・！」

ハンターも、二人に気がついた！距離は、およそ60m。

唯「あずにゃん、二手に分かれよう！」

梓「はつ、はい！！」

二手に分かれる梓と唯。ハンターが視界に捉えたのは・・・

ハンターが、徐々に距離を詰める。

梓
だ
・
・

梓
「なんで私
！？」

ハンター「(LOCK ON AZUSA)」

ポン！

中野梓 確保 残り14人

梓「あ～捕まっちゃった。早いです・・・」

早々に、確保・・・

リン「確保情報だ。」

澪「中央館付近にて中野梓確保。残り14人。」梓捕まつたか
「」

唯「うわあ～ん、あづにや～ん！～（泣）」

ワルイージ「もう一人捕まつてゐる・・・」

その頃、律が公園にあるハンター・ボックスに到着。

律「よし、レバーはどこかな・・・あつたあつた。」

早速レバーを下ろす。

律「よし下ろすか！」

ガシャン！ シーン・・・

律「・・・・・あれ？ボックスが起動しないぞ？」

そこへ、ワリオが合流。

ワリオ「何してんだ？」

律「レバー下ろしたのにハンターボックスが起動しないんだよ！」

ワリオ「何だつて？」

戸惑う一人の背後から、ハンター。

ハンター「……………」

ワリオ「一体どうすればいいんだ？」

律「ん?ハンター来てるよ!」

ワリオ「マジかよ!…とつあえず逃げるぞ!…!」

ハンター「……………」

ハンターが、二人の姿を捉えた!

果たして、ワリオと律は逃げ切れるのか!?

一方・・・

ゲームマスター「これは一体・・・」

？？？「フフフ・・・あこの仕掛けここいつ気がつくかな？」

ミッション1発令！（後書き）

謎の人物がハンター・ボックスに施した仕掛けとは！？

ハンター・ボックスの秘密（前書き）

ハンターに見つかったワリオと律。果たして、ハンターから逃げ切れるのか！？

そして、ハンター・ボックスの秘密が明らかに！！

ハンターボックスの秘密

ワリオ「ヤバい！逃げるぞーー！」

「でも、ニニシショーンはーーー？」

ワリオ「そんなもん後でいいだろ！」

別々に逃げる二人。

ハンター「……………？」

一人とも、うまく撒いたようだ。

ワリオ「ゼン、ゼン……危ねえ。」

律「でも離れちゃったなあ。」

しかし、ハンターボックスから距離が出てしまった！

一方・・・

ミク「やつと着いた。」

初音ミクが、コンビニ前のハンターボックスに到着。

ミク「よし下りすぞー。」

ガコン!! シーン・・・

ミク「あれれ?」

公園のハンターボックスと同様に、レバーを下げるでもボックスが起動しない!!

ミク「何で・・・?ん、これは!?」

律「そういうやさつきのボックス・・・」

ミク・律「レバーがもう1本あつた！！」

そう、謎の人物の手により、ハンターボックスのレバーがもう1本追加。

これにより、二人同時にレバーを下ろさなければ、ハンターボックスは

起動することができない！！

ミク「えへ、じゃあもう一人必要つてこと？」

一人では、ハンター・ボックスは起動できない！！

律「ワリオに電話しよう。」

ワリオ「電話？律からか。もしもし？」

律「ワリオ？今どこにいる？」

ワリオ「公園の傍の公衆トイレの裏だ。」

律「お願い、さつきのボックスのところに来て！レバーが2つあります

私一人じゃ起動できないんだ！－！」

ワリオ「よしわかつた！今向かう－－！」

ミッション終了まで 5分

ルイージ「あれ、ミクさんだ。」

偶然、ルイージが初音ミクを発見。

ルイージ「何してるの？」

ミク「実は・・・」

(説明中)

ルイージ「なるほど・・・」

ミク「はい。なので、一緒にレバーを下ろしてもうれますか?」

ルイージ「でもハンター放出は嫌だし・・・」

ミク「賞金増えたら、獲得したときの喜びも増えるんですよー。」

ルイージ「うーん・・・わかった、下ろすよー。」

ミク「ありがとうございますー。」

折れたルイージ・・・

ミク「いきますよ・・・」

ルイージ「OK！」

ミク・ルイージ「せーの・・・」

ガコン!! ×2

ハンターボックス 起動

ミク「よし、起動完了！」

ルイージ「早くここから離れよつてー。」

これによつて、ハンター1体放出&賞金単価100円アップが確定。

マリオ「誰もミシシショーン行つてないよな・・・」

さわ子「いまのままで十分よ・・・」

澪「(ブルブルブルブル・・・)」

ワリオ「よし、着いた!」

ワリオが、再び公園のハンター・ボックスにやってきた！

ワリオ「あとは待つだけか・・・」

律「あ 見えてきた！」

ミッション終了まで 3分

律の位置から、公園まではおよそ200m。果たして、間に合つのか！！

ハンターボックスの秘密（後書き）

次回、ミッション終了！賞金単価はいくらだ！？

遂にミッションが終了…賞金単価はこへり? (前書き)

遂にミッションが終了…賞金単価&ハンターの行方は!?

//シショーン一終マー賞金単価はこへり?

//シショーン終アまで 1分30秒

律「あつ、ワリオいる。」

ようやくハンターボックスに着いた律。

ワリオ「おー、遅いぞ。」

律「ゴメンゴメン。じゃあ早速下ろせ。」

ワリオ「ああ。」

律・ワリオ「せーの・・・」

ガコン!!

ハンターボックス 起動

律「あ〜疲れた。」

ワリオ「おい、休んでる暇はないぞ。早く離れるぞ!」

律「ああ!!」

これで、ハンター2体の放出と賞金単価プラス200円が確定。

〃シショ ン終」まで 一分

ペー チ「一 体 ぐら こ ども が い つ 」

唯「 鮎 や つ て な つ て な く は ば い い ん だ け ど な 」

レン「 隠 れ た ほ う が い い の か な 」

〃シショ ン終」まで 30秒

KAITO「 大 丈 夫 だ よ ね 」

紬「 り つ ち ゃ ん な ら や り か ね な い か も 」

ワルイージ「なんかヤバくね?」

マコオ「ワリオとかやつらうだな。」

マッシュショーン終了

10

9

8

7

6

エリアに、2体のハンターが放たれた！！

0 プシュー！！ガコン！！

1

2

3

4

5

リン「メール・・・」「//シショーンー結果」

澪「初音ミク、ルイージ、ワリオ、田井中律の4人による

ルイージ」「ハンター2体追加。現在ハンターは4体。」「

さわ子「倍に増えたじゃない！何してんのよ！」「

ミク「しかし賞金は1秒400円上昇。逃げ切れば168万円獲得。」「

ワリオ「まあ、いいんじゃないの。」「

(牢獄deトーク)

デイジー「あんなに札束が・・・」

梓「羨ましい限りです。」

マリオ「おーおー、やつちまつたな~」

愚痴をいじめずマリオの近くへ、ハンター。

ハンター「…………。」

マリオ「まったく、冗談じゃね~よ。」

ハンター「…………。」

マリオ「ゲーム終わったら説教してやる。」

ハンター「…………」

ハンターがマリオの姿を捉えた！しかしマリオはハンターに気づいていない！

マリオ「あー、これからビビりますかな……」

ハンター「LOCK ON MARTH」

マリオ「あー・・・・・マジかよ……」

マリオも、ハンターに気がついた！！

しかし、『氣づく』のが遅く、あつとこいつ間に距離を縮められ……

ポン！

マリオ 確保 残り13人

マリオ「愚痴言い過ぎたな・・・油断した。」

バチが当たつた、任天堂のスター・・・

律「確保情報か。」

レン「「展望台付近にて、マリオ確保。残り13人。」

ルイージ「兄さん捕まつた・・・僕のせいだ・・・」

唯「やつぱりハンター4体はキツいよ・・・」

ここまで、デイジー、梓、マリオの3人が確保され、残る逃走者は13人となつた！！

「シヨン一終ア一賞金単価は二ヘリッ（後書き）

ハンター4体となつた逃走中。逃走成功者は現れるのか！？

残り55分（前書き）

逃走中、始まるよーーー！

残り55分

残り55:00 360000円

現在、4体のハンターがエリア内をくまなく搜索。視界に入った逃走者を見失うまで追跡する。

リン「もうすぐ目標の40万円か？」

ワルイージ「一気に賞金が上がるペースが早まつたな・・・」

賞金は1秒400円ずつ上昇。逃げ切れば、168万円を獲得できる。但し、ハンターに捕まれば、賞金は0。

さわ子「あーおいしそう・・・」

2F レストランに潜む山中わわ子。美味しいものばほ田がなこよ
うだ。

律「あれ、わわちゃんじやね? 何してんだろ。」

その近くに律と、

ハンター「…………。」

ハンター。

わわ子「いやちのけーきも美味しいわうね・・・」

律「やつぱわわひやんだな~」

ハンター「…………。」

さわ子「いつのちのステーキも…………ハンター！」

ハンター「…………。」

ハンターもさわ子に気づいた！！

律「ヤバイヤバイ！！」

律もハンターに気がついた！！

さわ子「何なのよ～！」

律「危なかつた～。」

律は1Fに降り、難を逃れたが、さわ子は2Fにいるため、袋の
ネズミである！

さわ子「イヤー、来ないでーーーー！」

ポン！

山中さわ子 確保 残り12人

さわ子「捕まつた～皆頑張つて・・・」

桜高軽音部顧問、ここに散る・・・

ミク「メールだ。誰か捕まつたのかな?」

唯「中央館2Fにて、山中さわ子確保。残り12人。」さわち
やん捕まつた・・・」

KAITO「うわ~、立て続けに捕まつてるよ・・・」

紬「ハンターは・・・いないわね。」

エリアを移動する紬。

紬「あらへー」の草むら、なんだか変・・・」

紬の田の前に、不自然に揺れる草むらが。田じは・・・

紬「これって・・・、澪ちゃん?」

澪「ヒィー? なんだムギか~びづくつしたなあ。」

秋山澪だ・・・

紬「澪ちゃん、ハンター見た?」

澪「わざわざハンターの方に2体行つたよ。」

紬「分かったわ。ありがとう。」

残り 52 : 00 432000円

リン「あ、40万円いった！自首しようかな？」

目標金額に到達し、自首に心が揺れる鏡音リン。

リン「でも、あと20万円分位、頑張ってみたいと思います。」

上乗せだ・・・

レン「誰かと会いたいな、一人じゃ不安だよ。」

ハンター追加に不安を感じ、他の逃走者を探す鏡音レン。

レン「誰かいなかな。あ、ヤバい、ハンターだ。」

展望台から、ハンターを発見。

レン「逃げなきやーー！」

ハンターを発見し距離をとるレン。しかし逃げる先に、別のハンター。

ハンター「…………。」

レン「あそこを曲がって離れ…………うわっーー！」

ハンター「…………。」

見つかった……

来た道を引き返すレン。ハンターとの距離は、なかなか広がらない。

レン「ヤバいよ…………。」

その背後から、

ハンター「…………！」

先程見つけた別のハンターが接近。

レン「後ろからも来てるし！」

挟まれた・・・

レン「あーもうダメだ。」

そして、諦めた・・・

ポン！

鏡音レン

確保

残り11人

レン「あー捕まった！」

唯「確保情報?」

ルイージ「展望台付近にて鏡音レン確保。残り11人。」

ミク「レン君が捕まつた・・・」

ピーチ「全滅有り得るかも。だって、3分で一人も捕まつている
もん・・・」

KAITO「平和だな。」

黙りとつない青空を見上げる香嵐なKAITO。

KAITO「いま//シラコン無ければいいのになあ。」

ゲームマスター「そろそろ次の//シラコンを出すか。」

と言つて、ゲームマスターは、(miss)と書かれたパネルにタッチする・・・

???'「やう来たか・・・ならまだこれでどうかな?」

シューン!

謎の人物の操作により、エリアに謎の装置が出現した！！

ゲームマスター「この装置は・・・」うじゅうやいられない！！

慌てて（notice）と書かれたパネルにタッチするゲームマスター。

ゲームマスター「早く妨害元を突き止めなくては・・・」

残り55分（後書き）

次回、波乱のミッション2始動！－謎の装置の意味とは！？

//シヨン2&通達1（前書き）

謎の装置の成す意味とは?そして今回の//シヨンは牢獄の確保者が活躍!!

残り50:00 480000円

(牢獄内)

ペニコツ ペニコツ

マコオ「さ?メールだ。」//シヨン「へ。」

梓「私達に送つても意味無いんじやん。」

さわ子「まあ読むわよ。」

レン「君達の腕につけたのは、時限装置。」

デイジー「残り35分で起動し、強制失格となる。」

梓「回避するには、中央館3Fにあるレバーを下りし、暗証番

「…」かを出現させ、「

さわ子、「装置に入力しなければならない。」

マコオ、「なお、エリアに携帯電話無効化装置が出現。」

レン、「これにより、逃走者は携帯が使えないため、」

デイジー、「確保者たちでミッションを防ぐなければならない。」

「

マコオ「おおお、マジかよ。」

さわ子「嘘…、牢獄に来て…。」

MISSON 時限装置を解除せよ。」

逃走者の腕には、時限装置がついており、ゲーム残り35分に起動。強制失格となる。それを回避するには、中央館3Fに設置されたレバーを下ろし、トレーラーを動かし4桁の暗証番号を出現させ、装置に入力しなければならない！

通達 ミッションを伝達せよ！

謎の人物の操作によりエリア内に携帯電話無効化装置が出現した。これにより、逃走者は携帯電話が使えず、このミッションを知らない。そのため、牢獄にいる者たちで逃走者にミッションをつたえないくてはならない！

ワルイージ「メール来ないな・・・」

携帯電話が使えないため、メールを受け取ることができない……。

唯「あれ、携帯つかないや。」

律「唯、何してんだ？」

唯「あ、りつちゃん！携帯使える？」

律「ダメダメ、電源切れてる。」

唯「そつか？」

ミク「さつきから光ってるこれ、何だろ？」

時限装置だ・・・

(牢獄内)

デイジー「おーい誰か来て〜〜〜！」

梓「せんぱ〜〜〜！」

マリオ「ルイージ！〜〜〜姫〜〜〜！」

現在、ミッションを知っているのは、牢獄にいる5人のみ！

KAITO「あ、ピーチさん。」

ピーチ「あら、KAITOさん。」

KAITO「ピーチさん、この光っているのが何か分かりますか？」

ピーチ「分かりません・・・携帯も使えないし。」

KAITO「僕も、携帯が使えないんです・・・」

ワリオ「お、ワルイージー！」

ワリオ「ワリオかー？」

ワリオ「ああ。それよりお前、携帯の電源は入るか?」

ワルイージ「俺のはダメだ。」

ワリオ「そうか。俺のもダメなんだ・・・」

ハンター「・・・・・。」

KAITO「どうしましょう・・・・・。」

ピーチ「携帯使えないし・・・・・。」

ワリオ「クソッ、どうすれば復旧するんだ!-?」

ワルイージ「突然切れたしな・・・」

ハンター「・・・！」

ハンター「・・・！」

ワリオ「それはおかしい・・・ハンターだー！」

ワルイージ「マジで！？」

ワリオとワルイージだ・・・

ワリオ「ハア、ハア・・・」

ワルイージ「ヒイ、ヒイ・・・」

ハンターが視界に捉えたのは・・・

ワリオだ・・・

ワリオ「俺様かよ！？」

懸命に逃げるワリオ。しかし距離を詰められ・・・

ポン！

ワリオ 確保 残り10人

ワリオ「うわー！俺様の夢が～！～！ワリオ城が～！～！」

夢へと消えたワリオ城・・・

ここまで6人が確保され、残る逃走者は10人となつた！！

紺「あら、牢獄がなんだか騒がしいわ。」

紬「牢獄の異変に気がついた！！

紬「楽しい」とでもしているのかしら

レン「あ、誰か来る！…」

梓「ムギ先輩だ！…」

さわ子「ムギちゃん！…」

紬「嘘、どうしたの？」

デイジー「実は、残り35分に時限装置が起動して、強制失格になつちゃうの…！」

マリオ「だから、中央館の3Fにあるレバーを下ろして出た暗証

番号を入れなきゃいけないんだ！！」

紳「分かつたわ。行つてみる！！」

ミッションの存在を知った紳、これからレバーの元へと向かう！

紳「中央館は・・・あつちね。」

中央館に向かう紳。そこへ・・・

リン「あれ紳さん。どこへ行くんです？」

鏡音リンだ・・・

紬「実は・・・」

説明中・・・

リン「なるほど・・・じゃあ私は、このことを語らへますーー。」

紬「お願いしますーー。」

鏡音リンは、ミッションの伝達に動くよしだ。

残り45:00 600000円

リン「あ、誰かいた！」

鏡音リンが見つけたのは・・・

ルイージ「うう、怖い・・・」

ルイージだ・・・

リン「ルイージさん！！」

ルイージ「あ、リンさん。どうしたの？」

リン「実は・・・」

説明中・・・

ルイージ「本当に！..強制失格！？」

リン「はい・・・」

ルイージ「僕もレバーの所へ行くよ！！」

リン「お願いします！！」

//ミッション2&通達1（後書き）

現在、ミッションの存在を知っているのは、紳、リン、ルイージの3人！！

他の逃走者は、いつ気づくのか！？

番号出現！（前書き）

強制失格まで8分。まだミッションを知らないのは7人。逃走者の運命やいかに！！

番号出現！

残り43:00 648000円（強制失格まで7分）

ルイージ「駐車場に誰かいるな。」

駐車場に誰かを見つけたルイージ。見た人物とは・・・

唯「りっちゃん、これからどうする？」

律「どうするって言われてもな・・・」

唯と律だ・・・

ルイージ「おーい!!」

律「ん？ルイージじゃん。どうしたの？」

ルイージ「じ、実は・・・」

(説明中)

唯「それ本当ー?」

ルイージ「うん。そうなんだ。」

律「だつたらヤバいな・・・」

唯「私達もいくよ！！」

ルイージ「助かるよーありがとうーー」

唯と律と合流したルイージ。しかし、大人数で動けば、ハンターに見つかるリスクが高まる！！

紬「やつと着いたわ。」

紬「やつやく、3Fにたどり着いた紬。

紬「このレバーを下ろせばいいのね。よいしょっとー。」

ガコン！ ハハハハ・・・

紬「あ、トレーラーが動き始めたわ。番号は・・・「407」ね。」

」

装置に番号を打ち込む紺。

紺「あ、光らなくなつたわ！」

琴吹紺 MISSION CLEAR

ワルイージ「この光嫌だな～」

まだミッションに気づいていないワルイージ。その近くに、

ハンター「・・・・・。」

ハンター。

ワルイージ「いかにも何かありそうだな・・・」

ハンター「・・・・・・・・」

ハンターは、曲がり角の先にいる。

ワルイージ「駐車場に行くか・・・つてマジかよーー！」

ハンター「・・・・・・！」

見つかった・・・

ワルイージ「つま-----！」

必死に逃げるワルイージ。逃げた先には・・・

ミク「あ、ワルイージさん。つてハンター！」

初音ミクだ・・・

ワルイージ「この-----」

ミク「何で私まで-----?」

巻き添えだ・・・

ワルイージ「負けるかあ-----」

そしてワルイージが初音ミクを追い抜き、ハンターの標的が初音

ミクに変わった！！

ハンター (LOCK ON MIKU)

ポン！

初音ニク

確保

残り9人

ミク「ワルイージちゃん・・・」

巻き添えをへりつた、ボーカロイド・・・

リン「先に解除してからのおつがいによね。」

ヒトセ、3Fにさしかかった鏡音リン。

リン「あ、もうバーがおひしてある。綿せんかな?」

レバーは、既に紺が下ろしている。

リン「4・0・7つと・・・よし消えた!!」

鏡音リン MISSON CLEAR

律「あ、ちょっとストップ!!」

ルイージ「どうしたの?」

突然、止まる律。

唯「うひうひやん?」

律「あれ、澪じゃね?」

ルイージ「本当だ、澪さんだ。」

唯「おー、澪ちゃん」

澪「おこねー、こんなに集まつてビアしたんだ?」

ルイージ「実は・・・」

説明中

澪「ホントか!? 私もいくよーーー!」

律「よし、4人でいくぞーーー!」

唯「才——！」

ルイージ「お、オーラー・・・・」

現在、次のような状況である。

時限装置解除・・・紹、リン

ミッショング既知・ルイージ、唯、律、澪

ミッショングループ・KAITO、ピーチ、ワルイージ

強制失格まで5分。間に合うのか！？

番号出現！（後書き）

ワリオ・・・中央館1Fで確保

ミク・・・駐車場で確保

補足情報です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1237ba/>

逃走中～謎の人物との対決～

2012年1月8日18時49分発行